



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月28日

上場会社名 株式会社ディー・エル・イー 上場取引所 東  
 コード番号 3686 URL http://www.dle.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)椎木 隆太  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO兼経営戦略統括本部長 (氏名)川島 崇 (TEL)03(3221)3980  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の業績(平成25年7月1日~平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,337	—	248	—	228	—	270	—
25年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年6月期第3四半期	62.21	—	54.75	—
25年6月期第3四半期	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成26年6月期より行っているため、平成25年6月期第3四半期の数値及び平成26年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしておりません。  
 2. 当社は、平成26年1月10日付で普通株式1株を200株に株式分割しておりますが、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 当社は、平成26年3月26日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成26年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成26年6月期第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,841	—	1,338	—	72.7	—
25年6月期	872	—	96	—	11.1	—

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 1,338百万円 25年6月期 96百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日~平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,627	72.7	305	371.9	300	313.8	328	395.7	23.69	—

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成26年6月期の業績予想の1株当たり当期純利益は公募株式数(800,000株)を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。  
 3. 当社は、平成26年5月16日付で普通株式1株を3株に株式分割を行います。平成26年6月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、通期71円06銭となります。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期3Q	5,433,600株	25年6月期	4,295,000株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	—株	25年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期3Q	4,354,795株	25年6月期3Q	—株

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成26年6月期より行っているため、平成25年6月期第3四半期の期中平均株式数は記載しておりません。
2. 当社は、平成26年1月10日付で普通株式1株を200株に株式分割しております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。なお、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などを背景とした企業収益や雇用改善の動きが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、新興国経済の減速、消費税率引上げに伴う駆け込み需要後の反動等の不安材料の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境においては、スマートフォンやタブレットPCなどスマートデバイスの普及と多様化が進み、それに伴い、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、動画配信サイト、ソーシャルゲーム、コミュニケーションアプリなどの利用も急速に拡大しており、メディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有の即時化という形で人々のライフスタイルの変化をもたらしつつあります。

このような事業環境の中、当社の主力領域である「スキマ時間に楽しめるショートコンテンツ」を「短納期かつ低コストで」提供することで視聴者や利用者の需要に対応できるよう、IP開発力及びマルチメディア展開力の強化に努めており、当第3四半期累計期間におきましても事業展開を積極的に進めてまいりました。

ソーシャル・コミュニケーション領域においては、新規又は既存のソーシャル・キャラクターを開発・活用し、広告主向けのソーシャル・キャラクター・マーケティング・サービスの提供及びスマートフォンアプリやSNSサービス向けのゲームやスタンプ等のデジタル・コンテンツの企画開発を行っております。

当第3四半期累計期間においては、既存IP及びサービスの認知度の向上に伴い、ナショナルクライアントや地方自治体向けに、TVCM放映、インターネット動画広告の配信及びSNSスタンプの提供等のマルチメディアなマーケティング・サービスが好調に推移いたしました。また、スマートフォン向けアプリ開発も引き続き、好調に推移いたしました。

IPクリエイション領域においては、IPの映像コンテンツの企画開発・制作及び総合的なプロデュースを展開しております。

当第3四半期累計期間においては、TV版「秘密結社 鷹の爪シリーズ」の企画製作を開始、劇場版「GO! GO!家電男子THE MOVIE」を公開、及び「監督不行届」の制作等を行ったことで好調に推移しました。

その他、海外事業においては、北米展開強化の一環として、スマートフォン発の新キャラクター「CocoPPa Family」の制作を行い、現地の地上波テレビ局にて放送を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,337,602千円、経常利益は228,536千円、四半期純利益は270,918千円となっております。

なお、当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して969,658千円増加し、1,841,909千円となりました。これは仕掛品60,662千円及び出資金107,779千円の減少があったものの、現金及び預金820,391千円、受取手形及び売掛金253,845千円及び繰延税金資産62,603千円の増加を主要因とするものであります。

### （負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計額は、前事業年度末と比較して272,189千円減少し、503,265千円となりました。これは短期借入金の増加30,000千円があったものの、未払金73,246千円、1年内返済予定の長期借入金74,693千円及び長期借入金78,682千円の減少を主要因とするものであります。

### （純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計額は、四半期純利益270,918千円の計上及び新株発行に伴う資本金及び資本剰余金の増加970,930千円により、前事業年度末と比較して1,241,848千円増加し1,338,644千円となりました。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月26日に公表いたしました通期業績予想につきまして、現在のところ変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	246,239	1,066,630
受取手形及び売掛金	126,521	380,366
商品	9,332	11,478
仕掛品	95,133	34,471
繰延税金資産	—	62,603
その他	8,483	8,539
流動資産合計	485,710	1,564,089
固定資産		
有形固定資産	7,780	7,671
無形固定資産	17,632	15,612
投資その他の資産		
出資金	313,193	205,414
その他	47,933	49,121
投資その他の資産合計	361,127	254,535
固定資産合計	386,540	277,819
資産合計	872,250	1,841,909
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	84,132	85,213
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	156,733	82,040
未払金	124,430	51,184
未払法人税等	7,801	20,295
その他	226,160	137,016
流動負債合計	599,256	405,749
固定負債		
長期借入金	176,198	97,516
固定負債合計	176,198	97,516
負債合計	775,454	503,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	237,500	722,965
資本剰余金	15,000	500,465
利益剰余金	△155,704	115,214
株主資本合計	96,795	1,338,644
純資産合計	96,795	1,338,644
負債純資産合計	872,250	1,841,909

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,337,602
売上原価	767,916
売上総利益	569,686
販売費及び一般管理費	320,739
営業利益	248,946
営業外収益	
受取利息	34
為替差益	1,601
その他	0
営業外収益合計	1,636
営業外費用	
支払利息	3,259
上場関連費用	13,102
株式交付費	3,478
その他	2,206
営業外費用合計	22,047
経常利益	228,536
税引前四半期純利益	228,536
法人税、住民税及び事業税	20,221
法人税等調整額	△62,603
法人税等合計	△42,381
四半期純利益	270,918



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成26年3月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行800,000株（発行価格1,200円、引受価格1,104円、資本組入額552円）により資本金及び資本剰余金がそれぞれ441,600千円増加しております。

また、新株予約権の権利行使により、当第3四半期累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ43,865千円増加し、この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が722,965千円、資本剰余金が500,465千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、ファスト・エンタテインメント事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、投資単位当たりの金額を引き下げることによる当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を目的として、平成26年4月21日開催の取締役会において、平成26年5月15日を基準日として平成26年5月16日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行うことを決議いたしました。

当該株式分割の内容は、下記のとおりであります。

## (1) 分割の方法

平成26年5月15日を基準日として、同日の最終の株主名簿の記載又は記録された株主の所有する普通株式を1株につき3株の割合をもって分割いたします。

## (2) 分割の日程

基準日 平成26年5月15日

効力発生日 平成26年5月16日

## (3) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数 5,434,600株

今回の分割により増加する株式数 10,869,200株

株式分割後の発行済株式総数 16,303,800株

株式分割後の発行可能株式総数 52,680,000株

(注) 1. 株式分割前の発行済株式総数は、平成26年4月21日現在のものです。

2. 新株予約権の行使により株式分割の基準日までの間に増加する可能性があります。

## (4) 新株予約権行使額の調整

株式分割に伴い、平成26年5月16日の効力発生日以降、新株予約権の目的となる1株当たりの行使価格を以下のとおり調整いたします。

	調整前	調整後
第1回「イ」新株予約権	25円	9円
第2回新株予約権	250円	84円
第4回新株予約権	250円	84円
第5回「イ」新株予約権	250円	84円
第5回「ロ」新株予約権	250円	84円
第6回新株予約権	500円	167円
第7回「イ」新株予約権	500円	167円
第7回「ロ」新株予約権	500円	167円
第7回「ハ」新株予約権	500円	167円
第8回「イ」新株予約権	600円	200円
第8回「ロ」新株予約権	600円	200円
第9回新株予約権	600円	200円
第10回新株予約権	600円	200円
第11回「イ」新株予約権	600円	200円
第11回「ハ」新株予約権	600円	200円
第12回新株予約権	600円	200円
第14回新株予約権	600円	200円
第15回新株予約権	600円	200円

## (5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	20円74銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18円25銭